

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>武庫川女子大学大学院文学研究科修士課程・博士後期課程は、本学の教育理念を基本とし、人文学研究に関する各専攻領域に関する高い水準の教育・研究を行い、専門的学識に裏打ちされた応用力を発揮する職業人ならびに自立した研究者を養成します。以下の資質・能力を身につけ、所定の年限を在学して必要な単位を修得し、論文審査および試験に合格した学生に各専攻分野の名称を付記した学位（修士／博士）を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人文学研究の各分野における専門研究者として自ら課題を探究し、計画的に研究を遂行して、独自性のある成果を導くことができる。 2. 広い視野に立ち、俯瞰的な位置から対象を観察し、論理的に思考を組み立てることができる。 3. 高い倫理観と使命感を持ち、身につけた学芸を社会に発揮する意欲を備えている。 	<p>▽文学研究科 修士課程 武庫川女子大学大学院文学研究科修士課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけた人材を育成するために、コースワークとリサーチワークをバランスよく配置し、各領域における研究の基礎を支える知識・技能を付与するとともに、研究の方法・態度を体得させる教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程 各専攻においては高い研究実践能力の養成と、専門性をもって社会で活躍する職業人としての資質の涵養とを目的とし、研究成果を修士論文にまとめるための科目を開講します。学習者は、希望すれば隣接する専攻の科目を履修することが可能で、それにより学際的な研究を展開することもできます。教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで科目間の順次性・体系性を担保します。専攻によっては、教員免許状（一種）を有する者が当該教科の専門性を高めるために必要な科目を履修し単位を修得することで専修免許状が取得できる教育課程を編成します。 2. 教育方法 研究能力を向上させるため、学習者の能動的な学びを促す教育手法を積極的に活用します。 3. 教育評価 各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ学習者に対して評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。また、修士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。 <p>▽文学研究科 博士後期課程 武庫川女子大学大学院文学研究科博士後期課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけた人材を育成し、人文科学研究の将来を担う人材を養成するために、充実した博士論文の作成に導く教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程 専攻によっては、修士課程で履修した授業科目や修得した単位に加え、より高度な研究能力の伸長を図るために必要な研究・演習科目を設けた教育課程を編成します。 2. 教育方法 研究能力をより高い次元に引き上げるため、学習者の能動的な学びを促す教育手法を積極的に活用します。 3. 教育評価 各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ学習者に対して評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。また、博士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。 	<p>▽文学研究科 修士課程 武庫川女子大学大学院文学研究科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた者（男性／女性）を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高度な研究能力を養ううえで必要な基礎的学力を身につけている。 2. 人文学を中心とする学問研究に対して積極的な意欲を持っている。 3. 社会・文化・学芸の発展に寄与しようとする意志がある。 4. 公正な研究を遂行するための倫理意識を確立している。 <p>開設する専攻のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。</p> <p>▽文学研究科 博士後期課程 武庫川女子大学大学院文学研究科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた者（男性／女性）を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高度な研究能力を養ううえで必要な基礎的学力を一定水準以上に保っている。 2. 人文学を中心とする学問研究に対して積極的な意欲を持っている。 3. 社会・文化・学芸の発展に寄与しようとする意志がある。 4. 公正な研究を遂行するための倫理意識を確立している。 5. 研究者として自立した研究活動を行う意向を持っている。 <p>開設する専攻のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。</p>